

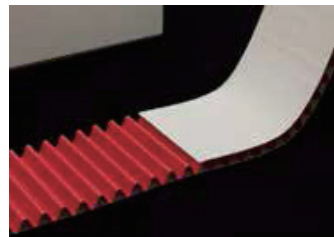
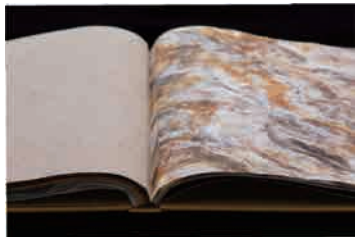
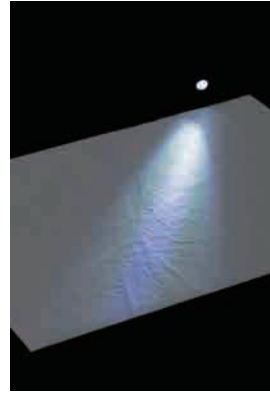
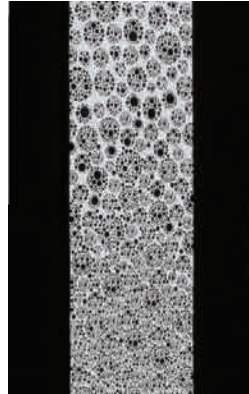
takeo paper show 2018 precision
精度を経て立ち上がる紙

2018年10月中旬配本予定

定価:2,800円(税別)



監修: 株式会社竹尾
企画・構成・デザイン: 田中義久
B5/272ページ/小口シルク印刷
発行: 株式会社竹尾
発売: HeHe / ヒヒ
ISBN978-4-908062-24-7 C0070



1899年の創業以来、紙の専門商社として高級特印刷用紙「ファインペーパー」の開発と提供を行う株式会社竹尾。1965年より開催し、今年48回目を迎えた「竹尾ペーパーショウ」は、日本国内の紙関連業界において唯一かつ最大規模の展示会です。

4年ぶりの開催となった今回の竹尾ペーパーショウは、「precision / 精度」をテーマに掲げ、これまでのファインペーパーの枠組みの中だけでなく、多様な紙素材をファインマテリアルへ進化させた、新しいファインペーパーを提案しました。

インターネットやデジタルデバイスの急速な発展に伴い、情報メディアとしての紙は、素材本来の可能性を本質的に再検証する転換期を迎えています。そんな現代において、紙そのものの内にある「精度」を見つめ直し、新たなマテリアルとしてのファインペーパーが、9組のクリエイターによって生み出されました。

本書は、6月に開催された東京展と、それぞれの制作過程の様態を、写真と豊富なテキストで構成。5000字超に及ぶクリエイターへのインタビューや、文化人類学者・竹村眞一氏のエッセイ、株式会社竹尾の社長と本展ディレクターの田中義久、会場構成を担当した中山英之の鼎談などを加え、記録としてのみならず、ものづくりやこれからの産業について、多角的に読み込める一冊となりました。

■参加クリエイター [紙素材]

安東陽子 [紙布]、葛西薫 [色紙]、田中義久 [和紙]、DRILL DESIGN [段ボール]、永原康史 [情報の紙]、原研哉 [半透明の紙]、原田祐馬 [厚紙]、藤城成貴 [モールド]、三澤遥 [機能紙]
□テキスト

エッセイ=竹村眞一「紙の再発明」

鼎談=田中義久(グラフィックデザイナー、美術家)×中山英之(建築家)×竹尾欄(株式会社竹尾代表取締役社長)

takeo paper show 2018 「precision」 大阪展

会期: 2018年10月5日(金)、6日(土)、7日(日)

会場: グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル イベントラボ
(大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 北館内)

▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX: 03-3721-1922

mail: info@tsubamebook.com

TEL: 03-6715-6121 http://tsubamebook.com

貴店名(番線印)	新刊 HeHe		www.hehepress.com mail: info@hehepress.com
	注文数	takeo paper show 2018 precision 精度を経て立ち上がる紙	返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通:川人
ご担当: 様	ISBN978-4-908062-24-7 C0070 定価: 本体2,800円(税別)		